

# 1 小学校低学年用「大すきなぼくの町」 指導例

本資料は斑鳩町<sup>いかるが</sup>を舞台として、法隆寺、竜田川などの歴史遺産や自然を取り上げ、それらと主人公の関わりを描いたものである。低学年児童を対象としており、歴史的建造物の文化的価値や自然保護の大切さを考えさせることよりも、それらとの思い出や関わりを大切にし、身近に感じ親しませることをねらいとしている。

展開前段では、主人公や母親の法隆寺や竜田川に対する思いについて考えさせ、それらをより身近に感じ大切に思うようになった主人公に共感させたい。また、展開後段では、郷土と自分たちとの関わりについて考えさせたい。その際、生活科の学習などで感じたり気付いたりしたことについても振り返り、意見交流をさせるなど、児童それぞれが郷土への愛着や親しみをより深められるようにしたい。

- ◆ **主題名** わたしたちのふるさと      指導内容 低4-(5)
- 資料名** 大すきなぼくの町      (奈良県郷土資料 県教育委員会)

## ◆ ねらい

身近な人々の郷土への思いを知り、郷土への愛着を深める主人公の心の動きを考えることを通して、郷土への愛着を深め、親しみをもって生活しようとする態度を養う。

## ◆ 展開

	学 習 活 動	主な発問と予想される児童の意識	指導上の留意点	備考
導 入	1、郷土に親しんだ経験を話し合う。	○ よく出かけたり遊んだりする身近なところがありますか。 ・近所の公園でよく遊ぶよ。 ・家族で○○にハイキングに行ったよ。	・体験を自由に出し合わせ、本時の学習内容にスムーズに入っていけるようにする。	
展 開	2、資料「大すきなぼくの町」を読んで話し合う。	○ シゲルはどうして法隆寺を紹介しようと思ったのでしょうか。 ・とても有名だから。 ・法隆寺は、多くの人がこれまで大切に守ってきたところだから。 ・お母さんとの思い出の場所だから。  ○ お母さんの話を聞いたシゲルは、どんなことを思ったのでしょうか。	・郷土の歴史的建造物であるとともに、シゲルにとってお母さんとの思い出の場所であることを押さえ、シゲルの気持ちにより深く共感できるようにする。  ・シゲルと散歩したことがお母さんの大切な思い出であることや、それを聞	

展	<p>3、自分を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お母さんも楽しかった思い出があるんだな。うれしいなあ。</li> <li>・ぼくもずっとお母さんと一緒に散歩がしたいな。</li> </ul> <p>◎ シゲルが、もっともっと法隆寺や竜田川のことを好きになったような気がしたのはどうしてでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お母さんとの思い出の場所だから。</li> <li>・おじいさんたちも大切にしているところだから。</li> <li>・ずっとお母さんたちと楽しく過ごしていきたいところだから。</li> </ul> <p>○ 身近な町に、思い出の場所や大好きな場所がありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつもみんなと遊んでいる公園は、とっても好きな場所だよ。</li> <li>・これからもずっと家族と一緒に〇〇に行って、ハイキングをしたいな。</li> <li>・おじいさんたちが、公園の花の水やりをしているのを手伝ったよ。またやりたいな。</li> </ul>	<p>いたシゲルの喜びに着目させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シゲルやお母さんの思い出や、もみじを守ろうとするおじいさんたちの思いを押さえ、シゲルの郷土に対する気持ちの深まりに共感できるようにする。</li> <li>・ワークシートに書き込むことでじっくりと考えさせ、それを基にして積極的に話し合えるようにする。</li> <li>・日常の生活や生活科での学習なども思い起こさせ、自分の郷土に対する様々な思い出や、大切にしようとしている人々がいることに思いを巡らせることができるようにする。</li> </ul>	<p>ワークシート</p>
終末	<p>4、指導者の話を聞く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者自身の郷土に対する思いや郷土を守るために力を尽くしている人々の話などにより、郷土への愛着を深め、親しもうとする心情を温める。</li> </ul>	